



半世紀を超えて



ケアンズ市姉妹都市締結50周年記念海外派遣事業

美波町(旧日和佐町)がオーストラリアケアンズ市と、1969年4月にウミガメを縁として姉妹都市を締結して、本年で50周年を迎えました。これまで、学生の相互派遣事業等の教育的交流事業を主に行ってきておりましたが、半世紀という大きな節目を迎えるにあたり8月22日から27日までの6日間、町長を使節団長とした使節団29名(赤松座、町内各関係団体代表等)が訪豪いたしました。

訪豪1日目は、ボブ・マニングケアンズ市長ら関係者60名参列のもと、姉妹都市締結50周年を記念し、植物園ボタニックガーデンの一角にて「記念植樹式」、同日夕方には豪日協会ジェフ・ヘインズ会長に美波町PRキャラクター「かめファミリー」の10人目のキャラになる「かめマイト」のコスチュームを観光協会代表者より贈呈いたしました。

2日目には、毎年8月下旬から1週間開催される「ケアンズフェスティバル」のオープニングを飾る「グランドパレード」に「赤松座」や「徳島文理大学人形浄瑠璃部」を中心に参加し、人形浄瑠璃や阿波踊りなどを披露し、地元テレビ局のニュース番組にて放映されるなど地元観客を楽しませました。

最終日には、100年ぶりに復活した「赤松座」、そしてそのきっかけとなった「徳島文理大学浄瑠璃部」がフェスティバルの特設ステージにて浄瑠璃公演を3回行いました。

訪問中は、ボブ・マニングケアンズ市長には毎日同席の場を設けていただき、今後教育的交流のほか、文化、スポーツ、民間レベルでの交流について相互努力を行う意思統一を図ることができました。

※後日、町ホームページにも公開予定。



ケアンズ市地元ラジオ局「4CA」生出演



出発式を行う使節団



記念植樹を行うボブ・マニング市長と影治町長



「かめマイト」贈呈式



在ケアンズ領事事務所表敬訪問



ケアンズ市ウミガメ保護研究施設訪問



「赤松座」浄瑠璃公演



グランドパレードに参加する使節団



ケアンズフェスティバル
浄瑠璃ステージ告知看板



観客にも楽しんでいただきました



沿道の観客にも声援いただきました



奨学生制度で美波町に
来ていた学生もお手伝い